

パブリック・コメント等のご意見を踏まえた対応について

1. 概要

「災害級の大雪時におけるタイムライン」に対するパブリック・コメント等でのご意見を踏まえ以下のとおり対応するもの

○パブリック・コメントの概要

- ・ 募集期間：令和3年9月1日（水）から令和3年9月30日（木）まで
- ・ 提出件数：11件

2. 主な意見と対応

No.	要旨	対応案
1	インターネットの配信だけでは、情報を受け取れない人もいるので、多様な情報伝達方法を備えてほしい。	県では、情報伝達手段として、県 HP や twitter（フォロワー数約 3.5 万人）などのインターネット発信に加え、新聞、テレビ（CATVを含む）、ラジオなど報道機関や経済団体など各関係団体に必要な情報を提供すること等、多様な手段を活用して、多くの県民の皆様へ呼びかけてまいります。
2	消雪装置の点検頻度や除雪車の増加など道路除雪に関する設備や体制を充実してほしい。	県では、道路監視カメラを増設し道路情報の把握に努めるとともに、除雪機械を増強するなど、除雪体制の強化に努めてまいります。 また、県と市町村で連携して、雪捨て場の共同利用や新設を検討しています。 ご提案も参考に、関係機関で連携して今後の除雪体制の充実に努めてまいります。

No.	要旨	対応案
3	タイムラインに、企業の臨時休業や学校の臨時休校の検討を記載してはどうか。	<p>今回策定したタイムラインでは、大雪に関する気象情報等が富山地方気象台等から発表された場合に速やかに県庁内の商工労働部や教育委員会などを含む危機管理連絡会議等を開催し、関係部署へ情報提供することにより民間企業や学校での対応を検討してもらう体制としています。</p> <p>ご提案の内容は、危機管理連絡会議の欄に具体的に「企業の臨時休業、学校の臨時休校など必要な呼びかけ」と記載することで反映します。</p>
4	通行止めは、天気予報等により早期に判断し、高速道路と一般道が連携して対応し、周知徹底すべきである。	<p>今回策定したタイムラインでは、富山地方気象台と連携し、災害級の大雪が予想される段階で、危機管理連絡会議等を開催し、高速道路、国道、県道、市町村道の管理者をはじめとする関係機関が情報共有し、県民に強く働きかけ交通量を減らす呼びかけ等の実施を検討することとしています。</p> <p>呼びかけの際は、報道機関等の協力も得ながら、多様な手段を組み合わせることで情報発信に努めてまいります。</p>
5	被害発生時以降の記載が少ない。	<p>本タイムラインは、災害級の大雪時における関係機関ごとの段階的な行動を共有し、円滑な連携のもと、速やかな初動対応により大規模な災害の未然防止に努めることを目的に作成したものです。</p> <p>ご指摘の被害発生時以降の対応については、県地域防災計画等に基づき、関係機関が連携して応急対策にあたる（別紙参照）こととしています。</p>
6	大雪が降ってからの災害対策本部の立ち上げでは遅い。	<p>今回のタイムラインでは、大雪になる前の「大雪に関する緊急発表（気象台、国合同発表）」の段階から、災害対策本部と同様の全庁的な初動体制が確立される大雪警戒本部を、災害のおそれのある「顕著な大雪に関する富山県気象情報発表」の段階で大雪対策本部を設置し、全庁あげて対応することとしています。</p>
7	市町村に対し県道の応援除雪を求めるのは、どのタイミングか。	<p>災害級の大雪後に、一日も早く安全な通行を確保できるよう、県と市町村が相互に応援して圧雪処理や拡幅除雪などを行う「応援除雪」の実施については、担当する除雪企業のみでの作業が困難となった時に実施する予定です。</p> <p>現在、市町村や除雪企業の意向を聞きながら、具体的な路線や区間について検討しています。</p>